

## 誓いの言葉

例年よりも一段と厳しかった米沢の冬の寒さも終わりを迎え、次第に春のあたたかな日差しを感じられるようになってきた今日、米沢市新規採用職員として辞令交付式に参加させていただき、大変光栄に思うとともに責任で身が引き締まる思いです。

私は、小学生の頃から春は上杉祭りの鼓笛パレード、夏は東北花火大会、秋は芋煮会、冬は上杉雪灯籠まつりに参加するなど、幼い頃から四季折々の伝統行事に触れる機会が多く、生まれ育った米沢市にとっても愛着がありました。その後、大学進学を機に十八年間暮らした米沢市を離れたことで改めて米沢市の魅力を認識したことにより、将来は生まれ育った米沢市で働きたいという思いを強く抱くようになりました。また、学生時代は充実した学生生活を送っていましたが、コロナウイルスの流行により生活にも大きな影響を及ぼし、私自身も大学三年生からの大学の講義はすべてオンライン授業に切り替わるなど、人と対面でコミュニケーションをとる機会が減ってしまい不安が募る毎日でした。そのような状況の中、米沢市役所でインターンシップを経験させていただき、職員の皆様が大変な状況でも市民の皆様の声により耳を傾け、寄り添いながらお仕事をされている姿を見て、私も米沢市のために働きたい・皆様のような職員になりたいという目標を持つようになりました。

現在の米沢市では、ウイズコロナと言われる生活様式の変化や少子高齢化による人口減少など、重要な課題を抱える中で「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」の実現を目指し、誰もが生きがいを感じることでできる持続可能なまちづくりが進められています。私もそのまちづくりに職員として加わり、市民の皆様が安心して暮らすことができ、米沢市に愛着を持つていただけるよう尽力して参りたいと思います。

最後になりますが、今までお世話になった皆様とこれから私たちを職員として迎えて下さる皆様への感謝を胸に、採用通知をいただいた時の喜びを忘れることなく一日も早く一人前の職員として、市民の皆様のお力になれるよう一生懸命頑張りますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

令和四年四月一日

新規採用職員代表 角 歩美